

専門性と安心感を地域医療に反映 高度な技術で迅速かつ正確な診断



より鮮明な画像診断ができるNBI機能を持つ電子スコープシステム

電子スコープシステムを更新

専門性と安心感をコンセプトに掲げ、高度な医療技術を提供する。特に甲状腺疾患やめまい、耳鳴りの診療で高い専門性を発揮。甲状腺疾患では、良性・悪性の腫瘍のほか、甲状腺機能の異常を伴うバセドウ病や橋本病、近年増加傾向にある睡眠時無呼吸症候群の診断と治療にもあたっている。

昨年、光学的画像強調技術のNBI（狭帯域光観察）機能を持つ電子スコープシステムを更新。ハイビジョン化で鮮明な画像を得ることができ、咽頭、喉頭がんの早期発見等に効果が期待できる。

また、高速マルチスライスCT導入により、撮影時間を短縮でき、耳鼻・のどの精密な画像診断を提供できるようになった。

充実した医療機器を活用するこ



超音波診断装置（エコーグラム）など高度な医療機器が揃う



迅速で正確な診断に生かせる高速マルチスライスCT

とにより精度の高い診断に役立てている。

的確な診断と効果的な治療

甲状腺ホルモン検査は、即日結果を伝えることができ、カラードップラー機能付き超音波診断装置とともに、甲状腺疾患の診断治療に有用だ。

アレルギー性鼻炎の治療は薬物療法のほか、特に鼻づまりに効果の高いアルゴンプラズマ治療を導入。様々な症状の患者さんに対応が可能。

睡眠時無呼吸症候群の疑いがある患者さんには、ハンディタイプの検査機器で簡易検査を行い、無呼吸の回数や血中酸素飽和度を測定。重症の患者はCPAP（シーパップ）療法による治療で無呼吸を緩和する。安達俊秀院長は「症状に気づいた際には迷わず受診していただき、お気軽にご相談下さい」と話した。



院長 安達 俊秀

平成3年旭川医科大学大学院卒業、平成3年旭川医科大学附属病院耳鼻咽喉科医員、平成4年名寄市立総合病院耳鼻咽喉科医長、平成7年旭川医科大学附属病院耳鼻咽喉科助手、平成8年苫小牧王子総合病院耳鼻咽喉科主任科長、平成13年7月にしん耳鼻咽喉科クリニック開院。日本耳鼻咽喉科学会専門医。

医療法人社団 **にしん耳鼻咽喉科クリニック**

☎(0144)71-1000



苫小牧市日新町2丁目6番43号にしんメディカルセンター
←ホームページはこちらから

耳鼻咽喉科・気管食道科・アレルギー科

診療時間／
月・火・水・金／ 8:30～12:00
14:00～17:45(受付17:30まで)
木・土／ 8:30～12:00
休診日／日・祝日

